



OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION



岐阜大学職員組合発行

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
Tel. 内線 9552 Fax 058-230-1118
E-mail: kumiai@cc.gifu-u.ac.jp
HomePage: 岐阜大学職員組合 (検索)

第29回定期大会の開催

下記の日程で岐阜大学職員組合第29回定期大会を開催します。

代議員は組合員5名につき1名です。(端数切り上げ)

各支部で選出をお願いします。

岐阜大学職員組合 第29回定期大会

日時 2012年10月3日(水) 18時～

会場 地域科学部 第1会議室

議案

第1号議案 活動報告

第2号議案 決算報告

第3号議案 規約改訂案

第4号議案 活動方針案

第5号議案 予算案

その他 特別決議案

活動報告への補足説明

軽食を準備します

組合員はどなたでもオブザーバとして参加いただけます。
代議員として出席希望の方は、支部役員にご連絡ください。

第29期中央役員選挙結果

全員信任されましたので報告いたします。(投票率 64.6%)

保育士の雇止め問題の経緯と組合の立場について

これまでの経緯

本年1月、2名の6時間パート保育士が、経営の効率化（＝人件費の削減）を理由に、これまで続いていた一年契約の更新を行わない旨の通告を受け取りました。この場で、本人は納得できない旨の意思表示をしましたが、受け入れられなかったとのこと。また、4月になって受け取った労働条件通知書にも、契約を更新しないと記述がなされていました。4月中旬、保育士2名は上記問題で職員組合に相談を申し出たため、組合として対応することになりました。

当初組合は、この問題に複雑な背景が感じられたため、まず保育士の間でこの問題を議論すること、もし保育士の間で一致して雇止めに反対できるのであれば組合としても支援できること、などをアドバイスしました。その後保育士たちの間で話し合いがもたれ、保育園内でまとまって「雇用を継続してほしい」旨の要望をだすことになり、そのためのお願いを保育士の一人が保育園の事務に行ったところ、事務からは、「決まったことだから・・・」と納得のいく返事がないばかりか、（今回の行動が組合活動でないにもかかわらず）組合活動に対する干渉とも受け取れる発言を行いました。

そこで組合は、もはやこの問題は保育士だけでは解決できないと考え、当局に事実関係を確認する「質問」を行いました（質問文は組合HPに掲載）。これに対して、当局からは8月30日に口頭での説明が行われましたが、その内容は、1. これまで年限に上限がないと考えられていた6時間パートに対して、3年継続を理由に雇止めを行う、2. 今回の目的は6時間パートの一部を派遣に置き換えることで、人件費の削減を図ることである、3. 本人にはそのことを説明し、了解してもらっている、という内容でした。この説明内容は、保育士からの説明とも異なり、また今後多くの非常勤職員の雇用条件にも影響する内容であるため、組合として取り上げて交渉することを決定しました。また保育士には、園長に対して納得できない旨を伝えること、受け入れられない場合は雇止めの理由を文書で求めること、をアドバイスしました。

9月18日に保育士が園長に面会し、上記を伝えたところ、すでに決定しているので変更できない、理由は口頭で説明しているので文書で交付する必要はない、との回答でした。文書での理由の開示は、労働法でも義務付けられている事項です。組合は9月25日付けで、この問題に対する団体交渉を申し入れました（申し入れ文は組合HPに掲載）。これを受けた予備交渉が9月28日に行われましたが、理由の文書での交付は認められたものの、実質的な内容では当局は前回の説明を繰り返すだけでした。

組合の立場

岐阜大学直営保育園「すこやか」「ほほえみ」は平成20年の発足以来、多くの働く親たちの子育て支援に有効に利用されてきました。私たちは、直営保育園の設立に努力された、また維持のために努力されている様々な方々に感謝したいと思います。

しかしながら、今年になり、経営の効率化を理由に、保育の質を低下させかねないような「合理化」が提案・実施されようとしています。そもそも、直営保育園というものは、働きながら子育てをする職員の就業を支援することで、岐阜大学の男女共同参画事業を推進するとともに、より広くは国民の働く権利を保障し、高齢化する日本の活力を維持、発展させるためのものです。いたずらに効率化や独立採算を追求すべきものではありません。もちろんどのような組織でも、合理化・効率化は必要ですが、行き過ぎた効率化はその組織本来の目的を損ない、逆効果となります。

特に今回の提案は、6時間パートを1年未満短期の派遣職員で置き換えることで、人件費の削減を行うとしていますが、これに対して現場の保育士の間では戸惑いの意見が出ています。「現在でも、最低限の保育士数

工学部支部日帰りツアー企画

「名古屋観光ホテルでのランチ & 劇団四季ミュージカル観劇」報告

去る7月21日(土)に工学部支部で劇団四季日帰り観劇ツアーを行いました。この企画は工学部支部組合員相互の親睦を図りつつ、劇団四季の話題のミュージカル「ウィキッド」をS席で観劇することが目的でした。組合員とその家族の計20名の参加がありました。

当日はまず名古屋観光ホテル内レストラン「ジャルダン」にてランチ／親睦会を行いました。コース料理と聞いておりましたが、実際にはバイキング方式でした。一応コース料理ですので、食す順番が決まっていたようですが、バイキングでしたので、皆さん順番に関係なく食べたいものをたくさん食べておりました。食事しながら、組合員相互の親睦が深まりました。

そうこうしているうちにあっという間にランチ終了時刻となり、劇団四季の観劇場である「新名古屋ミュージカル劇場」に徒歩で移動しました。そして、いよいよミュージカル「ウィキッド」が始まりました。基本的には「オズと魔法使い」のお話がベースになっていますが、物語の最初の方はすっかり忘れており、また、劇場内のセットや俳優さんの迫力もあり、途中休憩を挟んだ3時間の劇があっという間に終わりました。

その後は解散となりましたが、一部の参加者は近くの栄や名駅周辺で「二次会」を開いていたようです。

後日、参加者からは「子どもたちはもちろん楽しめたが、大人も十分楽しめた」、「組合からの補助のおかげで普段ではなかなか見ることができないS席での劇団四季観劇は最高だった」、「パート職員同士で交流ができた」等の声を頂きました。

工学部支部では例年山や海へのバスツアーが多かったのですが、たまにはこのような文化鑑賞も良い、と感想を持ちました。来年の支部ツアー企画がどのようなものになるか今から楽しみです。

(工学部支部 隈部 和弘)



大学人のためのメンタル講座

「よりよい人間関係を築くための自己表現法」参加報告

9月6日に病院2階レセプションルーム「オーク」で午後6時から開催されました。誰もが、相手に自分の心をわかってもらいたい。「でもこんなことを言ってもよいのかしら、誤解されないかしら、嫌われないかしら」、など、なかなか自分の本当の気持ちを伝えることができません。いざ、伝えようと決心しても、じゃあ、どう伝えればよいの?と悩んでしまいます。この講座は、そんな悩みを抱えながら、日々コミュニケーションで奮闘している(?) 私たちのために、うってつけのものでした。講師の和田玲子先生は、カウンセリングルーム「ひだまり」で実際にカウンセリングをされているエキスパートです。講義は、後半は実習ということで、具体的な状況をロールプレイングで実演、自己表現の難しさと同時に、誰もが苦労していることを共有でき、ちょっぴりコミュニケーションがわかった気にもなる、楽しいものでした。ぜひとも、第2段、第3段とやってほしいと思いました。